

フロイント産業株式会社

株主通信

2022年2月期 **通期**

(2021年3月1日～2022年2月28日)

株主の 皆様へ

不透明な事業環境が続いた2022年2月期(以下「当期」)。当社グループでは、「世界中の人々の医療と健康の未来への貢献」という経営ビジョンの実現に向けて、様々な事業分野で新たな創造の発芽が見られました。

代表取締役社長

伏島 巖



当期の事業活動レビュー

機械部門

医薬品分野：日本市場では、薬価改定が毎年実施されるなど、製薬業界は医療費抑制政策の強化への対応を迫られています。また、ジェネリック医薬品(GE)における品質・安定供給問題の発生により、さらなる体制整備が求められています。このような環境のもと、当社はGE業界体制整備のニーズを取り込むことで、当期末に向けての受注が好調に推移いたしました。

コロナ禍の影響で人手不足やサプライチェーンの混乱がより色濃く発生した海外市場では、受注は積み上がったものの、出荷の大幅遅延による業績への影響が大きく出ました。地域別では、米フロイント・ベクターによる米国、ブラジルでの受注が好調で、過去最大の期末受注残高となりました。一方、新興国を主要市場とする伊コスメックは、コロナ禍による影響に加え、ものづくり基盤を自社で保有していることから、固定費を吸収できずに苦戦を強いられました。

非医薬品分野：産業用機械事業を担うフロイント・ターボによる製品ラインナップの拡充が進展いたしました。従来の化学・食品業界などに加え、電池・電子部品業界の次世代ニーズを見据えた取り組みが奏功し、日本市場における受注が好調でした。

化成品部門

医薬品分野：日本市場ではGE業界での混乱がありましたが、医薬品添加剤事業は順調に推移いたしました。海外市場では、インドでの営業活動を推進し、受注が回復しております。

非医薬品分野：食品品質保持剤事業では、お土産品市場などが引き続きコロナ禍の影響を受けておりますが、総合スーパー、コンビニ業態でのお菓子の販売が回復いたしました。健康食品事業は、大口ユーザーからの受託終了の影響により、大幅な減収となりました。

当社グループならではの 新たな創造に向けて

世界情勢は、先行きが非常に不透明な状況にあります。このような環境のなか、当社グループはグローバル5極体制を整備し、それぞれの市場ニーズに沿った顧客提案活動ができる基盤を構築しつつあります。日本市場において、機械事業では既存のお客様に対し課題を解決する製品・サービスの提案を、化成品事業では環境に配慮した製品開発を開始しております。海外市場においては、上海FCセンター(中国)での拠点活動を2023年2月期の下期から開始し、アジア圏最大の医薬品市場である中国への営業を加速してまいります。

引き続き『ONE FREUND』の価値観をもって、次世代に向けた価値創造を着実に進めてまいります。

当社は世界に先駆けて自動フィルムコーティング装置を上市し、多くのお客様の製造現場で当社の機械装置が稼働しております。既存装置を視点に置いた当社のイノベーション提案をご紹介します。

錠剤コーティングPAT※1システム 「TACT(Tablet Auto Coating Tool)」

2020年9月を期限とした“ジェネリック医薬品(GE)の数量シェア80%目標”の到達が目前に迫っていた2019年、GE80%特需後は製薬企業の設備投資が落ち着くとの想定のもと、当社は新製品以外の開発テーマの検討も進めておりました。

新たなテーマを検討するにあたり、すでに当社の機械装置をご採用いただいているお客様に照準を合わせ、お客様が困っておられる課題を装置の改良・改善で解決し、既存装置市場のイノベーションを志向したソリューション開発に着目し、自動錠剤サンプリングを用いたPATシステムの開発がスタートいたしました。

従来の自動サンプリングは、コーティング装置から僅かな量の錠剤を装置外へ排出する自動化にとどまっておりましたが、当社は錠剤を自動採取する機構に加え、錠剤重量測定、製造終点予測までを自動化することで、品質の安定性向上、作業効率向上、生産性向上、ヒューマンエラー防止につながる全自動型の錠剤サンプリングシステムの完成を目指しました。

開発の焦点は、後付けできる装置、さらに自動採取した錠剤の数や重量を計測し、製造の終点予測を行い、製造を自動で終了できる装置で、業界初のチャレンジとなりました。ハードウェアとして機械設計ができることはもとより、錠剤コーティングという製造フローを熟知したうえでのソフトウェア開発が必要で、特に終点予測は、多くのお客様と接してきた当社だからこそ実現できた制御と言えます。

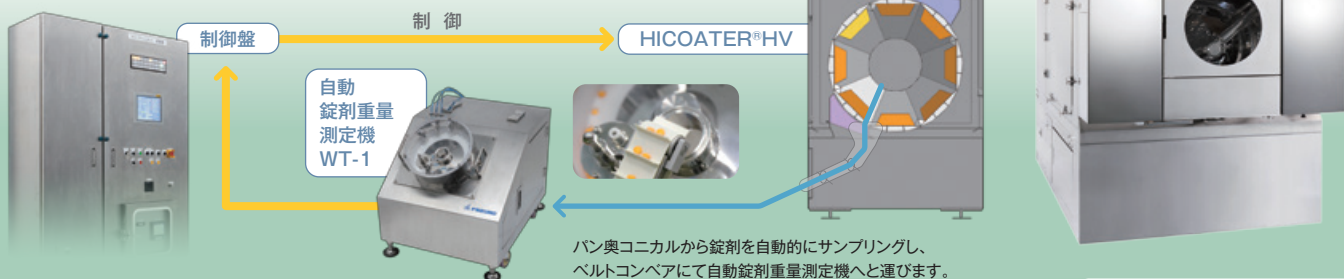
初見のお客様にインパクトを与えられる製品にこだわると同時に、既存装置に簡単に取り付けられ、リーズナブルな価格を目指しました。既存製品「ハイコーターFZ」はもちろん、新製品「ハイコーターHV※2」にも「TACT」が採用されております。

新たな価値を提供できたことからお客様の反応も上々で、今後さらにブラッシュアップしていく予定です。将来的にはAIによる動作予測に基づいた制御機能などを付加することによって、一層の安定生産と品質向上に繋げてまいります。

※1 PAT(Process Analytical Technology)：製品中の中間製品の品質をリアルタイムモニタリングすることで、プロセス全体を継続的に検査および監視し、高い品質を担保するシステム

※2 2021年12月1日に改称しました。

自動サンプリングと終点管理システム



コーポレートトピックス

多様性を受け入れて活かすD&I(ダイバーシティ&インクルージョン)活動を通じ、『ONE FREUND』の実現を目指します。

当社におけるD&Iとは、年齢や性別、人種などの表層的な属性に加え、個性や価値観などの深層的な属性を含め捉えております。目に見えにくい内面の多様性が受容され、一人ひとりの違いを認め合い、個々の能力を活かすダイバーシティ&インクルージョンによって社員と組織の活性化を図り、企業価値向上を目指しております。

2020年3月、全社の働き方改革や一人ひとりの意識・行動変容を促す啓蒙活動などを中心にD&I活動を始動いたしました。コロナ禍のなか、メンバーが対面で議論できないなど、様々な障害がありましたが、2021年末、推進メンバーが一同に会し、組織全体の現状や課題を十分に検討・理解したうえで、改めてビジョンと中長期目標を策定するワークショップを開催いたしました。

第1フェーズは、「言える、考える、組織」というビジョンを掲げ、多様性の土壌づくりに取り組んでまいります。これにより、一人ひとりが主体的に意見を持ち、互いに理解・尊重し合えるシームレスな組織を目指します。

D&I VISION(1st Phase)

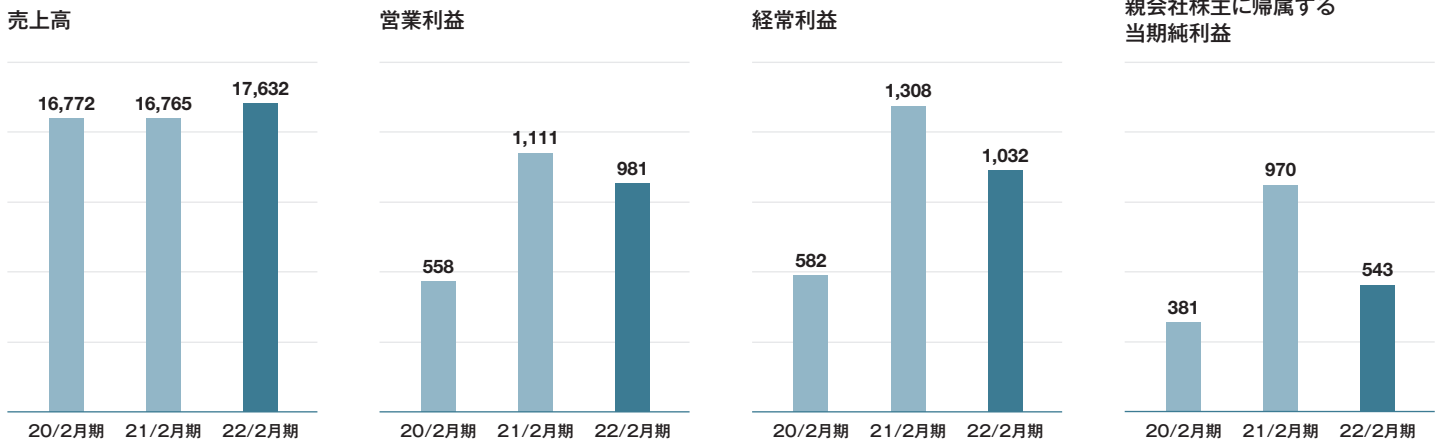
言える、考える、組織

一人ひとりが意見を持ち、互いに理解・尊重し合えるシームレスな組織を目指します。

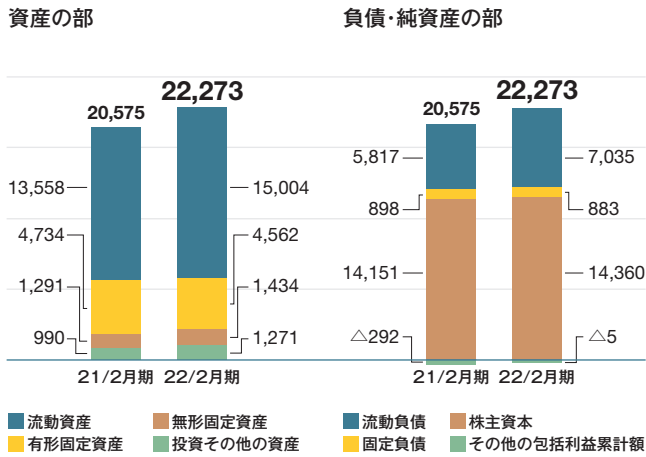
中長期目標

- 01 心のカベ・部署のカベを越えた、一体感のある組織をつくります
- 02 チャレンジ精神が芽生え、意欲が受け入れられる風土をつくります
- 03 活気と配慮にあふれるフレンドリーな環境をつくります

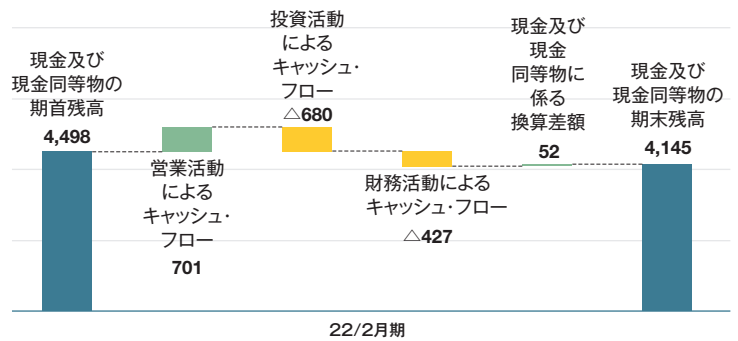
連結損益計算書 (百万円)



連結貸借対照表 (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)



REVIEW OF OPERATIONS

事業概況

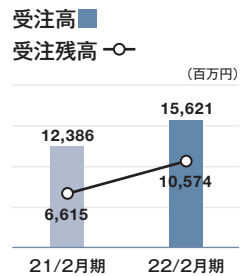
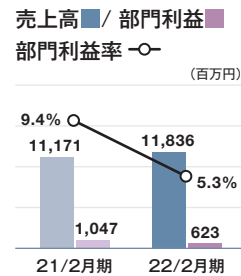
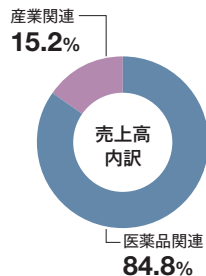


機械部門

医薬品、食品、化粧品などの様々な分野向けに、造粒・コーティング装置などを製造・販売

グループ会社

フロイント産業株式会社
 フロイント・ターボ株式会社
 Freund-Vector Corporation
 Cos.Mec S.r.l.
 Parle Freund Machinery Private Limited

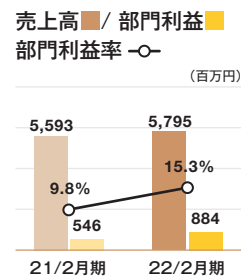
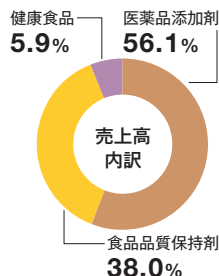


化成品部門

医薬品添加剤、食品品質保持剤、健康食品などを製造・販売

グループ会社

フロイント産業株式会社



化成品部門の受注高・受注残高は販売計画に基づいた見込生産のため、掲載を省略しております。

会社概要

商号	フロイント産業株式会社
英文商号	Freund Corporation
設立	1964年4月22日
資本金	10億3,560万円
事業の概要	医薬品、食品、化学等の業界向け造粒・コーティング装置及びプラントエンジニアリングと医薬品添加剤、食品品質保持剤、健康食品等の開発・製造販売
従業員数	476名(連結)

本社所在地	東京都新宿区西新宿6丁目25-13 フロイントビル
ホームページ	https://www.freund.co.jp
グループ会社	【日本】 フロイント・ターボ株式会社 粉粒体機械装置の研究開発、設計及び製造・販売 【アメリカ】 Freund-Vector Corporation 粉粒体機械装置の開発・製造・販売 【イタリア】 Cos.Mec S.r.l. 医薬品等製造機械装置の開発・製造・販売 【インド】 Parle Freund Machinery Private Limited 医薬品等製造機械装置の製造・販売

名誉会長	
名誉会長	伏島 靖豊
役員	
代表取締役社長	伏島 巖
常務取締役	若井 正雄
取締役	本田 稔昭
社外取締役	中竹 竜二
社外取締役	田中 尚
常勤監査役	平野 栄
社外監査役	泉本 小夜子
社外監査役	濱田 和成

STOCK INFORMATION

株式情報 (2022年2月28日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	18,400,000株
株主総数	15,586名

大株主の状況

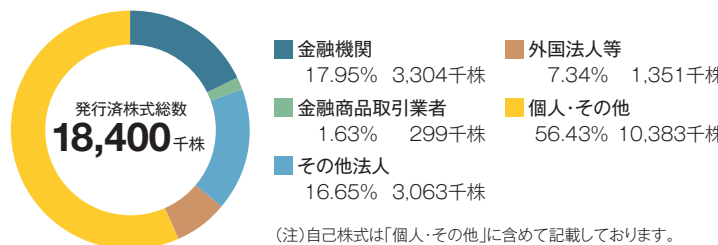
	持株数(千株)	持株比率(%)
(株)伏島揺光社	1,648	9.84
伏島靖豊	1,230	7.35
(株)三菱UFJ銀行	836	4.99
(株)三井住友銀行	744	4.44
PERSHING-DIV. OF DLJ SECS. CORP.	715	4.27
(株)大川原製作所	673	4.02
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	620	3.71
フロイント従業員持株会	411	2.46
(株)静岡銀行	368	2.20
明治安田生命保険相互会社	360	2.15

自己株式1,655千株(9.00%)を保有しております。
持株比率は自己株式1,655千株を控除して計算しております。

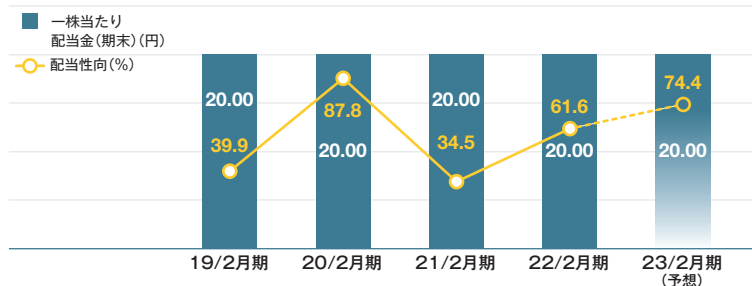
株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
株主確定日	定時株主総会・期末配当金 2月末日 (中間配当を実施するときの株主確定日は、8月31日)
株主名簿管理人 同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町一丁目1番地 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)

所有者別株式分布状況



配当金・配当性向の推移



郵便物送付先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電子公告の方法により行います。
公告掲載URL (https://www.freund.co.jp)
ただし、電子公告によることができない事故、
その他のやむを得ない事由が生じたときは、
日本経済新聞に掲載します。

フロイント産業株式会社

この株主通信に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

○経営企画本部 経営企画部 03(6890)0767 ○URL https://www.freund.co.jp

